

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年9月21日(2022.9.21)

【国際公開番号】WO2020/070607
 【公表番号】特表2022-502229(P2022-502229A)
 【公表日】令和4年1月11日(2022.1.11)
 【出願番号】特願2021-542296(P2021-542296)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 5/20(2006.01)

10

A 6 1 M 5/32(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/20

A 6 1 M 5/32 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月12日(2022.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

注入装置を使用するユーザーを訓練するための注入装置訓練器具であって、
 本体部と、

前記本体部の近位端に向かって位置付けられたアクチュエータであって、近位位置から遠位位置へと移動可能である、アクチュエータと、を備え、

前記本体部は、本体突出部を備え、前記アクチュエータは、前記アクチュエータが前記遠位位置にあるときに前記本体突出部と連結することによって、前記アクチュエータを前記遠位位置に保持するように配置されたラッチを備える、

30

注入装置訓練器具。

【請求項2】

前記ラッチは、前記ラッチが前記本体突出部と連結したときに可聴音を発するように構成されている、請求項1に記載の注入装置訓練器具。

【請求項3】

注入装置を使用するユーザーを訓練するための注入装置訓練器具であって、
 本体部と、

前記本体部の近位端に向かって位置付けられたアクチュエータであって、近位位置から遠位位置へと移動可能である、アクチュエータと、を備え、

前記本体部は、本体突出部を備え、前記アクチュエータは、前記アクチュエータが前記遠位位置にあるときに前記本体突出部と接触し、可聴音を発するように配置されたラッチを備える、

40

注入装置訓練器具。

【請求項4】

前記ラッチは、前記ラッチが前記本体突出部と連結されているときに前記アクチュエータを前記遠位位置に保持する、請求項3に記載の注入装置訓練器具。

【請求項5】

前記ラッチは弾性部材を備える、請求項1又は請求項3に記載の注入装置訓練器具。

【請求項6】

50

前記ラッチは、前記ラッチが前記本体突出部と連結されていない非連結状態と、前記ラッチが前記本体突出部と連結されている連結状態との間で移動可能である、請求項 1 又は請求項 3 に記載の注入装置訓練器具。

【請求項 7】

前記弾性部材は、前記アクチュエータを前記遠位位置から前記近位位置に移動させる際に閾値を超える力が前記アクチュエータに印加されると、前記連結状態から前記非連結状態へと移動するように配置されている、請求項 5 に記載の注入装置訓練器具。

【請求項 8】

前記ラッチは、前記ラッチを前記非連結状態から前記連結状態に移動させるために前記本体突出部と連動するように配置されたラッチ偏向部を備える、請求項 1 又は請求項 3 に記載の注入装置訓練器具。

10

【請求項 9】

前記ラッチは、前記ラッチ偏向部を含む弾性部材を備える、請求項 8 に記載の注入装置訓練器具。

【請求項 10】

前記ラッチは、前記連結状態で前記本体部を把持するように配置された把持要素を備える、請求項 1、請求項 3、又は請求項 8 に記載の注入装置訓練器具。

【請求項 11】

前記ラッチは、前記把持要素を含む弾性部材を備える、請求項 10 に記載の注入装置訓練器具。

20

【請求項 12】

前記ラッチ偏向部及び前記把持要素は、前記ラッチの対向する側にある、請求項 8 及び請求項 10 に記載の注入装置訓練器具。

【請求項 13】

前記アクチュエータは、前記近位位置から前記遠位位置への前記アクチュエータの移動が回転子を回転させるように、前記回転子と連結されており、

前記注入装置訓練器具は、前記回転子の前記回転を減衰させるために、前記回転子に連結される又は連結可能な減衰要素を更に備える、

請求項 1 又は請求項 3 に記載の注入装置訓練器具。

【請求項 14】

30

注入装置であって、

流体を格納するためのチャンバと連結された針と、
本体部と、

前記本体部の近位端に向かって位置付けられたアクチュエータであって、前記チャンバ内に格納された流体を前記針から分注するために、近位位置から遠位位置へと移動可能である、アクチュエータと、を備え、

前記本体部は、本体突出部を備え、前記アクチュエータは、前記アクチュエータが前記遠位位置にあるときに前記本体突出部と連結することによって、前記アクチュエータを前記遠位位置に保持するように配置されたラッチを備える、

注入装置。

40

【請求項 15】

前記アクチュエータは、前記近位位置から前記遠位位置への前記アクチュエータの移動が回転子を回転させるように、前記回転子と連結されており、

前記注入装置は、前記回転子の前記回転を減衰させるために、前記回転子に連結される又は連結可能な減衰要素を更に備える、

請求項 14 に記載の注入装置。

【請求項 16】

注入装置であって、

流体を格納するためのチャンバと連結された針と、
本体部と、

50

前記本体部の近位端に向かって位置付けられたアクチュエータであって、前記チャンバ内に格納された流体を前記針から分注するために、近位位置から遠位位置へと移動可能である、アクチュエータと、を備え、

前記本体部は、本体突出部を備え、前記アクチュエータは、前記アクチュエータが前記遠位位置にあるときに前記本体突出部と接触し、可聴音を発するように配置されたラッチを備える、

注入装置。

【請求項 17】

前記アクチュエータは、前記近位位置から前記遠位位置へのアクチュエータの移動が回転子を回転させるように、前記回転子と連結されており、

前記注入装置は、前記回転子の前記回転を減衰させるために、前記回転子に連結される又は連結可能な減衰要素を更に備える、

請求項 16 に記載の注入装置。

【請求項 18】

請求項 1 又は請求項 3 に記載の注入装置訓練器具、又は請求項 14 又は 16 に記載の注入装置へと組み立てられるように構成された部品のキット。

【請求項 19】

注入装置を使用するユーザーを訓練するための方法であって、前記方法は、注入装置訓練器具を提供することを含み、前記注入装置訓練器具は、

本体部と、

前記本体部の近位端に向かって位置付けられたアクチュエータであって、近位位置から遠位位置へと移動可能である、アクチュエータと、を備え、

前記本体部は本体突出部を備え、前記アクチュエータはラッチを備え、

前記方法は、前記アクチュエータが前記遠位位置にあるときに前記ラッチが前記本体突出部と連結することによって、前記アクチュエータを前記遠位位置に保持するように、前記アクチュエータを前記近位位置から前記遠位位置に移動させることを更に含む、

注入装置を使用するユーザーを訓練するための方法。

【請求項 20】

前記アクチュエータは、前記近位位置から前記遠位位置への前記アクチュエータの移動が回転子を回転させるように、前記回転子と連結されており、

前記注入装置訓練器具は、前記回転子の前記回転を減衰させるために、前記回転子に連結可能な減衰要素を更に備え、

前記方法は、前記アクチュエータを前記近位位置から前記遠位位置に移動させ、その間に前記減衰要素が、前記回転子の回転を減衰させることによって、前記アクチュエータの前記遠位位置に向かう移動を減衰させることを更に含む、

請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

注入装置を使用するユーザーを訓練するための方法であって、前記方法は、注入装置訓練器具を提供することを含み、前記注入装置訓練器具は、

本体部と、

前記本体部の近位端に向かって位置付けられたアクチュエータであって、近位位置から遠位位置へと移動可能である、アクチュエータと、を備え、

前記本体部は本体突出部を備え、前記アクチュエータはラッチを備え、

前記方法は、

前記ラッチが、前記アクチュエータが前記遠位位置にあるときに前記本体突出部と連結し、前記ラッチが前記本体突出部と連結したときに可聴音を発するように、前記アクチュエータを前記近位位置から前記遠位位置に移動させること

を更に含む、注入装置を使用するユーザーを訓練するための方法。

【請求項 22】

前記アクチュエータは、前記近位位置から前記遠位位置への前記アクチュエータの移動

10

20

30

40

50

が回転子を回転させるように、前記回転子と連結されており、

前記注入装置訓練器具は、前記回転子の前記回転を減衰させるために、前記回転子に連結可能な減衰要素を更に備え、

前記方法は、前記アクチュエータを前記近位位置から前記遠位位置に移動させ、その間に前記減衰要素が、前記回転子の回転を減衰させることによって、前記アクチュエータの前記遠位位置に向かう移動を減衰させることを更に含む、

請求項 2_1 に記載の方法。

10

20

30

40

50